

ダブルカットバリダスタークル粉剤3DL

■種類名：ジノテフラン・カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン粉剤	
■有効成分：ジノテフラン	0.35%
カスガマイシン—塩酸塩	0.34%
〔カスガマイシンとして〕	0.30%
トリシクラゾール	0.50%
バリダマイシン（バリダマイシンA）	0.30%

■登録番号：第22981号	
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)	
■登録初年：2011.10.12	
■性状：類白色粉末	45μm以下
浮遊性指数	20以下
■有効年限：3年	
■包装：3kg×8袋	

【特長】

- いもち病防除剤ダブルカットと紋枯病防除剤バリダシン、殺虫剤スタークルとの混合粉剤。
- いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイをまとめて防除できる。
- ダブルカットは、いもち病菌の稲への侵入や病斑形成阻止に加えて、二次感染阻害作用を有することで、優れた残効性を示す。
- バリダシンは、紋枯病の進展阻止効果に優れる。
- スタークルは、水稻の主要害虫に有効で、特にカメムシ類に対して優れた効果を示す。

【適用内容】（2023年10月末日現在）

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	カスガマイシンを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 もみ枯細菌病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	3～ 4kg/10a	穂揃期 まで	2回 以内	散布	4回以内 （育苗箱への 処理及び側条 施用は合計 1回以内、 本田での散 布、空中散布、 無人ヘリ散布 は合計3回 以内）	4回以内 （種子浸漬は 1回以内、育苗 箱への処理は 1回以内、本田 では2回 以内）	4回以内 （育苗箱への 処理は1回 以内、本田で は3回以内）	6回以内 （育苗箱灌 注は1回 以内、本田 では5回 以内）
	ニカメイチュウ	4kg/10a							

【効果・薬害等の注意】

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- 稲に使用する場合、次のことに注意すること。
 - ◆ 株元、葉鞘部に対しても散布むらのないように全体に均一に散布すること。
 - ◆ 紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布すること。
- 本剤によるもみ枯細菌病の防除はいもち病との同時防除として穂ばらみ期～穂揃期に使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- れんこんには薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には、薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- きく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

作成日 2011年12月22日
改訂日 2022年06月15日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ダブルカットバリダスタークル粉剤3DL
整理番号	1588-08
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(殺虫殺菌剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じんを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313) 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
保管	漏出物を回収すること。(P391) 施錠して保管すること。(P405)

廃棄
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)
 他の危険有害性
 蚕、ミツバチに対して影響がある。
 重要な徴候及び想定される非常事態の概要
 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

ジノテフラン・カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン粉剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
(RS)-1-メチル-2-ニトロ-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル) Guanidine (一般名 ジノテフラン)	0.35%	$C_7H_{14}N_4O_3$	(5)-6767	8-(4)-1339	165252-70-0
カスガマイシン塩酸塩	0.34%	$C_{14}H_{25}N_3O_9 \cdot HCl \cdot H_2O$	-	-	19408-46-9
(カスガマイシンとして)	(0.30%)	$C_{14}H_{25}N_3O_9$	-	8-(4)-233 8-(4)-283	6980-18-3
5-メチル-1,2,4-トリアゾロ[3,4-b]ベンゾチアゾール (一般名 トリシクラゾール)	0.50%	$C_9H_7N_3S$	-	8-(3)-520	41814-78-2
バリダマイシンA	0.30%	$C_{20}H_{35}NO_{13}$	-	8-(4)-380 8-(4)-393	37248-47-8
鉱物質微粉、凝集剤等	98.51%	-	-	-	-
結晶質シリカ(石英)	70-80%	SiO_2	(1)-548	既存	14808-60-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物
情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

気分が悪いときは、医師に連絡する。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

ばく露による二次災害の防止。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤	火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。
火災時の特有の危険有害性	火災時に有害ガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。 火花を発生しない安全な用具を使用する。 大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋又はドラム缶等に回収する。 回収後の少量の残留物は、土砂又はおがくず等に吸収させる。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
	接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。作業衣を家に持ち帰ってはならない。
保管	安全な保管条件	涼しい所／換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。
	安全な容器包装材料	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
5-メチル-1,2,4-トリアゾロ[3,4-b]ベンゾチアゾール (一般名トリシクラゾール)	未設定	3mg/m ³	未設定
鉱物性粉じん	E = 3.0/(1.19Q+1) E 管理濃度 (mg/m ³) Q 遊離けい酸含有率(%)	0.03 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)	TWA 0.025 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)

設備対策

取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

防じんマスク
保護手袋
保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体(粉末)

色

類白色

臭い

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

6.0(×5)

動粘性率

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

その他のデータ

見掛け比重 0.84

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

直射日光、高温、多湿

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

通常の条件下では生成しない。

加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラット(雌) LD₅₀ > 2,000 mg/kg

経皮

ラット(雄) LD₅₀ > 2,000 mg/kg

ラット(雌) LD₅₀ > 2,000 mg/kg

皮膚腐食性／皮膚刺激性

皮膚刺激性試験(ウサギ)：刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼刺激性試験(ウサギ)：極軽度の刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感

皮膚感作性試験(モルモット)：陰性

生殖細胞変異原性

混合物は区分2の結晶質シリカ(石英)を1.0%以上含有し、混合物としては区分2に該当する。

発がん性

混合物は区分1Aの結晶質シリカ(石英)を0.1%以上含有し、混合物としては区分1Aに該当する。

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

混合物は区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)の結晶質シリカ(石英)を10%以上含有し、混合物としては区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)に該当する。

誤えん有害性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類 : コイ	LC ₅₀ (96h)	> 1,000 mg/L
	甲殻類: オオミジンコ	EC ₅₀ (48h)	> 1,000 mg/L
	藻類 : 緑藻	ErC ₅₀ (0-72h)	560 mg/L
ジノテフラン			
水生環境有害性 短期(急性)	セスジユスリカ	LC ₅₀ (48h)	0.036 mg/L
	ドブユスリカ	NOEC (27日)	0.00288 mg/L
水生環境有害性 長期(慢性)	魚類、甲殻類、藻類の生態毒性値がそれぞれ > 100 mg/L のため、区分外とした。		
残留性・分解性	区分1であるジノテフランの10×毒性乗率×成分濃度が25%以上のため、区分2とした。		
生体蓄積性	データなし		
土壌中の移動性	データなし		
オゾン層への有害性	データなし		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。		
汚染容器及び包装	容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。		

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	3077
	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
	Class	9
	Sub Risk	—
	Packing Group	III
	Marine Pollutant	applicable
	航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
	UN No.	3077
	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
国内規制	Class	9
	Sub Risk	—
	Packing Group	III
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3077
	品名	環境有害物質(固体)
	クラス	9
	副次危険	—
	容器等級	III
特別の安全対策	海洋汚染物質	該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3077
	品名	環境有害物質(固体)
	クラス	9
	副次危険	—
	等級	3
	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。	

緊急時応急措置指針番号

171

15. 適用法令

農薬取締法
労働安全衛生法

登録番号 第22981号
名称等を表示すべき危険物及び有害物
結晶質シリカ
名称等を通知すべき危険物及び有害物
結晶質シリカ
有害性物質
その他の有害物質

船舶安全法
航空法

16. その他の情報

記載内容の問合せ先

会社名
担当部門
電話番号
FAX番号

北興化学工業株式会社
企画部 環境安全チーム
03-3279-5151
03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499(情報料無料)

365日 24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365日 9～21時対応

医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923(1件2,000円)

365日 24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件2,000円)

365日 9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。